

91136R



NEW ZEALAND QUALIFICATIONS AUTHORITY
MANA TOHU MĀTAURANGA O AOTEAROA

QUALIFY FOR THE FUTURE WORLD
KIA NOHO TAKATŪ KI TŌ ĀMUA AO!

Level 2 Japanese 2021

91136 Demonstrate understanding of a variety of written and/or visual Japanese text(s) on familiar matters

Credits: Five

RESOURCE BOOKLET

Refer to this booklet to answer the questions for Japanese 91136.

Check that this booklet has pages 2–4 in the correct order and that none of these pages is blank.

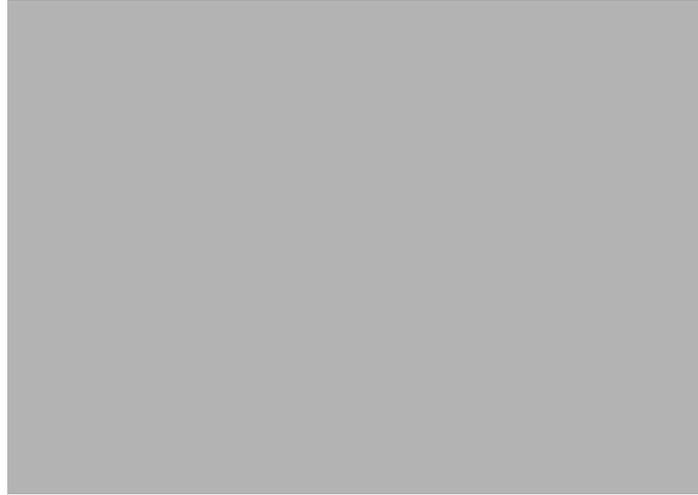
YOU MAY KEEP THIS BOOKLET AT THE END OF THE EXAMINATION.

TEXT A: いいべんきょうになったけいけん (My experience was a good lesson)

Olivia is studying Japanese in Japan with other international students. She wrote this report about an experience she had, for her Japanese class in New Zealand.

Glossed vocabulary

グミ gummy bears (a kind of lolly)



先週の 昼休みに、私は 日本に 来て はじめて、でんとうてきな食べ物の
べんきょうを する ために、先生と いっしょに 学校の 近くの レストランに
行きました。

私たちは よく わからなかったから、一人で ちゅうもんでできなくて、先生に
人気がある ものを 聞きました。先生は 私たちに 色々なすしを しょうかい
しました。その中の 一つが 私の 大すきなグミを たくさん つかっている
すしの ようで、とても おいしそうだったから、たのんでみました。すしが
来たから、はやく 食べたくて、一かいで ぜんぶ 口の中に入れて
しまいました。でも、思っていた あじ ではなかったから、食べ終わるまで
大へんでした。先生は 私の へんなかおを 見て、わらいながら、それは
「いくら」という魚の たまごだと 言っていました。グミの すしでは
なかったから、とても はずかしくて かおが あかくなりました。その後、
先生が「いくら は いくらでしょうか」と 言ったから、おかしかったです。
きびしい先生だと 思っていたけど、しんせつで おもしろい先生だと
わかって、みんな よろこんでいます。

TEXT B: プカナゲーム (Pūkana game)

Sachiko is a Japanese international student. This is her first blog about her homestay in New Zealand.

Glossed vocabulary

スピード speed

きのうは つかれたから、ゆっくりする ために かぞくに あいさつだけ して、
ねた。だから、今日は みんなで ばんごはんを 食べるのを 楽しみに して
いた。お父さんは じむしょから はやく かえってきた。なつだから、ひろい
しばふの にわで BBQを した。日本では だんちに すんでいたから、
うれしかった。

私は ここに 来る前、この国の 文化や えい語を いっしょうけんめい
べんきょうしたけど、まだ 上手に 話すことができない。食事の 時も、
話すスピードが とても はやかったから、びっくりしてしまった。おさらを
あらってから、子どもたちが 「プカナゲーム」というマオリの あそびを
しない?と 言った。ゲームを している 間に、「プカナ」ということばの
せつめいも 聞くことが できた。はじめは ただしいやりかたが わからなかった
けど、あまり ことばをつかわないゲームだったから、かぞくが しているのを
見ながら、した。よく まけてしまったけど、いっぱい あそぶことが できて
よかった。あしたからの りゅう学も 楽しい だろう。

TEXT C: べんろんたいかいでゆうしょうしました (I won the speech competition!)

Michiyo is a high school student in Japan. This is a transcript of a speech she wrote for a competition that she won.

みなさん、日本の学校にはそうじの時間があることをどう思いますか。
私は時々つまらないから、したくない時もあります。した後は、気分が
いいです。きょうしつがきたないと、べんきょうもよくできないでしょう。

みなさんも、そう思ったことはありませんか。

いつもきょうしつをかたづけていると、そのけっか、ほかの色々なところも
きれいにつかう人が多くなります。そして、学校のまわりやみちにごみ
があると、たくさんの人がごみばこに入れはじめます。これはとても
大せつな教いくの一つです。だから、朝、学校のきんじょのえきや
こうえんもそうじをしませんか。そこは、人が行ったり来たりするから、
いつもきれいにしておきたいです。

それから、一人ですんでいるおじいさん、あばあさんはあまり家事が
できないから、私たち高校生がチームをつくって、一週間に一かい、
てつだうのもどうでしょうか。おじいさんやおばあさんはわかい高校生と
話もできるから、あかるくなってげん気が出るかもしれません。

みなさん、これからも「きれいなまちをまもりましょう」とたくさんの人
につたえてください。

